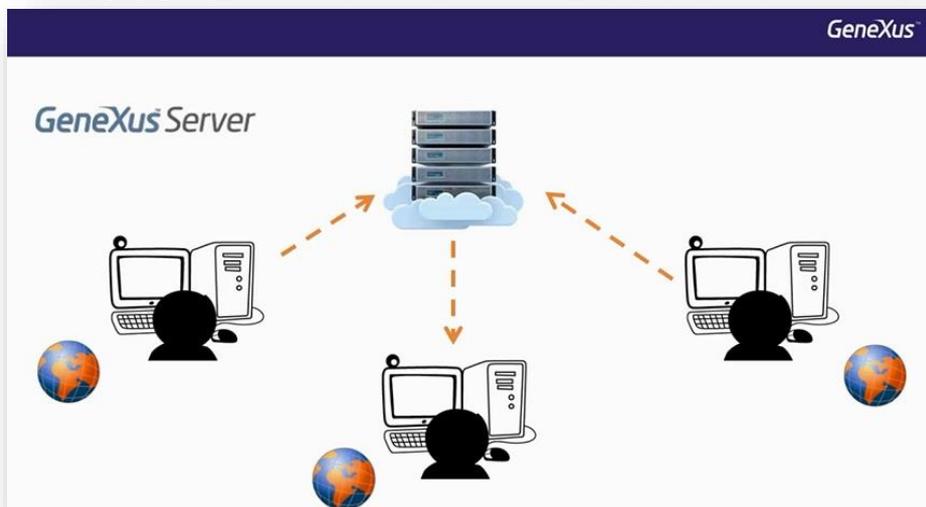


## バージョンモデル



GeneXus Server を使用すると、セントラルリポジトリを使用して GeneXus ナレッジベースの管理を共有し、一元化できます。

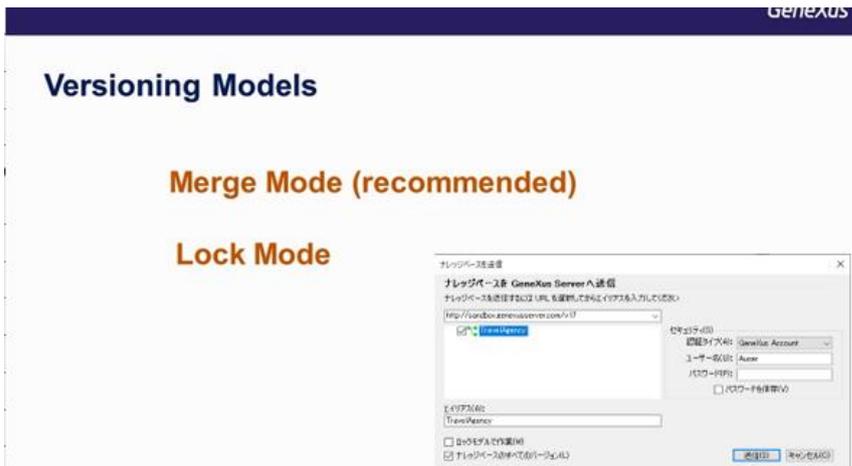
複数のユーザーが 1 つのオブジェクトを同時に変更する必要がある可能性があるため、GeneXus Server はこのようなプロセスを制御して、1 人のユーザーによる変更が他のユーザーによって上書きされないようにする必要があります。



この目的のために、GeneXus Server はチーム開発に適用する 2 つの異なるバージョン管理モデルを提供します:

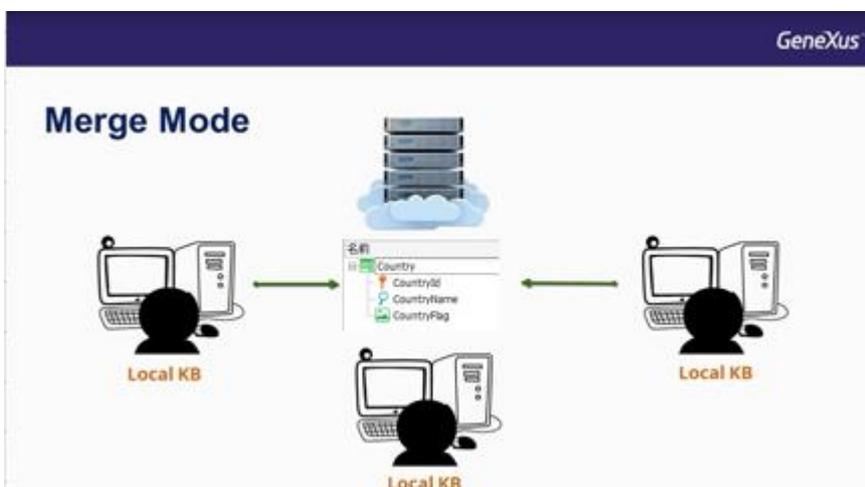
- マージモード(推奨)
- ロックモード

どちらも、同じ問題を解決することを目的としています。一元化された KB で行われた変更が上書きされないように保護しながら、ユーザーが情報を共有・編集できるようにすることが可能です。

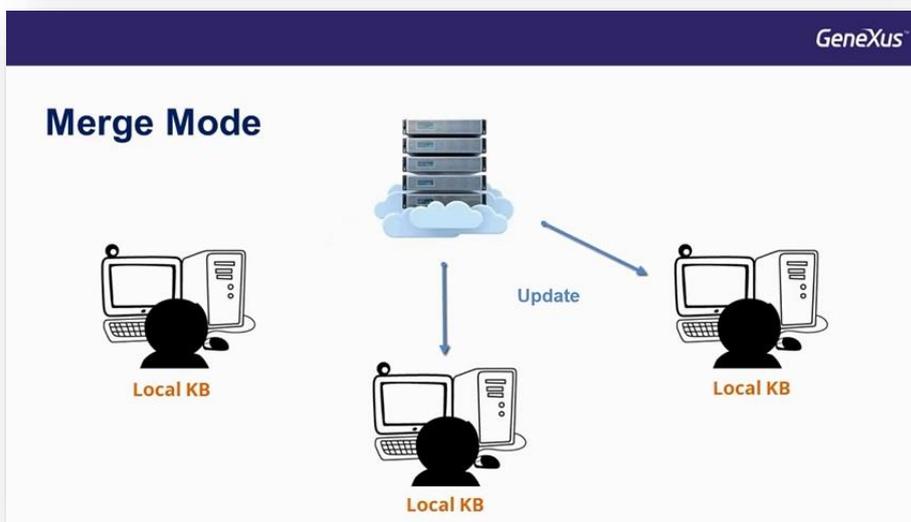


マージモードに関連する概念を考えてみましょう。

このモードにより、ユーザーはナレッジベースのそれぞれのローカル コピー内にある任意のオブジェクトを変更できます。各ユーザーが同じオブジェクトに対して行ったすべての変更は、セントラルリポジトリに取り込まれる前に統合されます。これは、自動統合ツールによって保障されています。



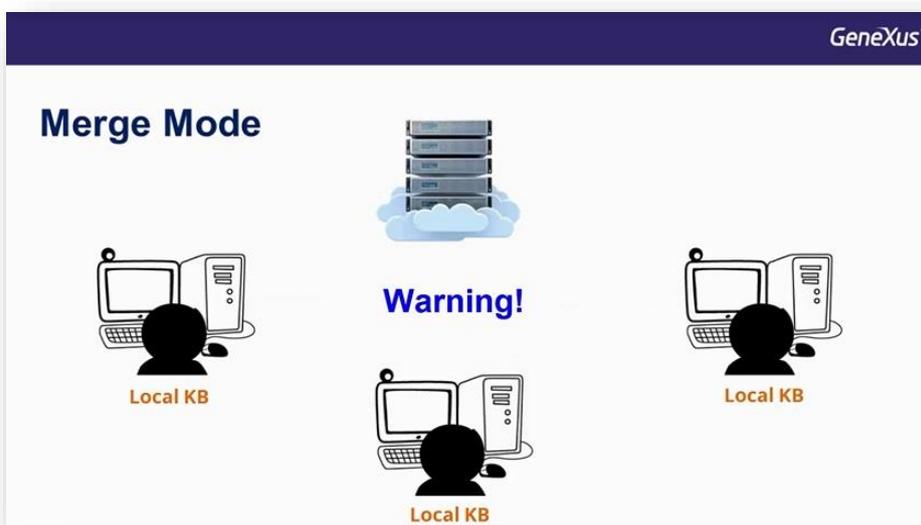
このモードでは、2人以上のユーザーが同じオブジェクトを変更した場合、最初のユーザーのみがコミットできることに注意してください。自身のコミットを試みると、最初のユーザー以外には、最初に対象のオブジェクトの更新を行う必要があることが通知されます。更新により、ローカルコピーとサーバーバージョンに加えられた変更がマージされます。ユーザーは、このような更新が行われた後にのみ、コミットを実行できるようになります。



ほとんどの場合、マージプロセスは自動的に行われますが、そうでない場合もあります。

たとえば、両方のユーザーがプロシージャのソースで同じ行を変更した場合、結果がどうなるでしょうか？どの変更が他の変更より優先されるかを判断する方法はありません。

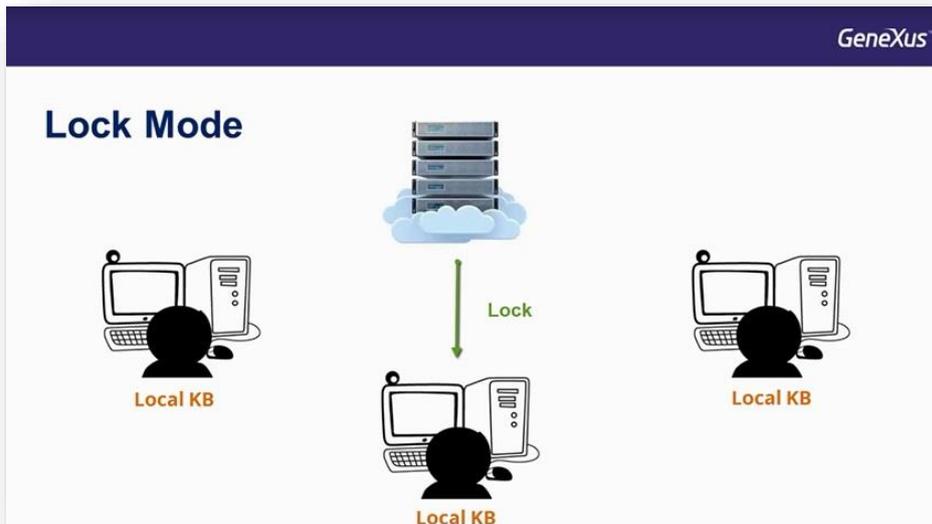
このような場合、ユーザーはその状況について警告を受け、競合を解決するために両方の定義を比較し、手動でマージする必要があります。



ロックモードに関連する概念を見てみましょう。

このモードは、GeneXus Server の管理により、1 人のユーザーのみが特定のオブジェクトを変更できるようにするモードです。このモードで作業している場合、GeneXus は KB 内のすべてのオブジェクトが読み取り専用になります。

オブジェクトを変更する場合には、同時変更を防ぐため、サーバー ロックを取得する必要があります。



また、改めて重要な点について言及しますが、両方のバージョン管理モデルが同じように安全であり、異なるユーザーによって行われた作業の上書きを効率的に防止できます。

